

わだち

令和2年6月26日 第11号

校長室(学園)へ どうぞ

18日(木)に産山村消防団長の鈴木健士さまが学園を訪れてくださいました。



ちょうどお昼休みの時間でした。校長室にはかわいい来室者がいましたので、副校長室にお通しました。(鈴木様、すみませんでした。)

一昨年度から続けていることですが、特別な会議等がない時は、校長室は子供たちがホッとする部屋になっています。パズルをする子、iPadで理科のアプリを使って、人体を学ぶ子、オオクワガタを見る子、ジェンガで遊ぶ子…。将棋をする子も…。1年生から5年生、中には7、8年生も…。

6月の学校再開時は、ワイワイとなる場面もありましたが、三密を避けるために曜日毎に来室制限をしています。

にぎやかな校長室ですが、地域の皆様也大歓迎です。お茶ぐらいしか出せ

ませんが、子供たちというかけがえのない「おもてなし」があります。どうぞ、学園へ、校長室へお立ち寄りください。お待ちしております。 村上 拝

神戸の脇田様より手作りマスクが届きました😊

今週、神戸市から心温まる贈り物が届きました。中身は手紙と全学園生・職員分の手作りマスクでした。

贈り主は、脇田康宏様。脇田様は、手紙の中で、「産山村子供ヘルパー活動で、10年以上お付き合いをさせて頂きました」と、産山村とご自身のつながりについて書かれていました。「84歳になり、手がしびれて杖をついております」という文面には驚きました。脇田さんは、学園のために、杖をついて布やゴムを買い行き、しびれる手で一つ一つ丁寧にマスクを作ってくださいしたのです。マスクは140枚以上ありました。学園では、感謝の気持ちをすぐにお伝えするために、村上校長がお礼の手紙を書きました。また、現在、生徒会執行部が感謝状を作成しています。

脇田さんの心のこもったマスクは、本日26日、全学園生に配布しました。大切に使いたいと思います。脇田さん、ありがとうございました。 今村 拝

